

〈社 会 科〉

1 地 理 的 分 野

- (1) 教科書や地図帳をよくみて、次のことを考える。
- ① 学習する場所が、どこにあるかを地図で確かめる。 [位置]
 - ② そこは、どんなようすか地形や気候を調べる。 [自然]
 - ③ 人々の暮らしのようす、人口や産業・交通の状態を調べる。 [生活]
 - ④ 他の地域とどんなところが違うかなぜ違うのか。 [特色]
 - ⑤ 日本または世界の中で、どんな役割を果たしているか。 [地位]
 - ⑥ 人々の暮らしは、どう変わってきたか。 [歴史]
どう変わりつつあるか。将来、どう発展するか。 [展望]
- (2) 地図帳の中でも、資料や統計グラフなどを見逃さない。 [統計]
- (3) 資料は、こまめに集め、新聞や雑誌をスクラップしよう。 [資料]
- (4) 白地図の作業を併行して学習するよう習慣づける。 [確認]
- (5) 観光地図や旅行記などを読んで、客観的にも見てみよう。 [興味]

2 歴 史 的 分 野

- (1) 学習する時代の年表を見て、次のことを調べよう。
- ① どのようなことが起こっているか。年号を調べる。
 - ② 外国ではどんな時代か。比較してみる。
- (2) どんな時代であったのか。その特色をつかむ。
- ① その時代に活躍した人物は、だれか。
 - ② 政治や世の中のしくみは、どうなっているのか。
 - ③ 人びとの生活や文化は、どうであったか。
- (3) 時代の移りかわりを調べる。
- ① 政治や社会のしくみ、人びとの生活がどう変わったか。
 - ② 時代が移りかわるとき、どのような力が働いたか。
- (4) 各時代が現在の社会生活に及ぼしている影響を考える。
- ① 資料、歴史の読み物、伝記などをしっかり読もう。
 - ② 身近な地域の遺跡、遺物、昔からの風俗習慣にも目を向けよう。
- (5) 歴史学習の心がまえは、**5W・1H**といわれる。
- それは、

いつ (When), どこで (Where), だれが (Who) なにを (What), なぜ (Why), どうした (How)

- と、すじ道をたてて考え、理解することが大切だということである。

(年号のおぼえ方の例)

○都を平安京に移す	794年	(鳴くよ うぐいす平安京)
○遣唐使の廃止	894年	(白紙にもどる唐との関係)
○鎌倉幕府の成立	1192年	(いい国つくると頼朝幕府)
○鉄砲の伝来	1543年	(鉄砲で、以後四散する戦国の世)
○室町幕府亡びる	1573年	(将軍は都を追放以後なみだ)
○朝鮮出兵文禄の役	1592年	(以後国を出て文禄の役)
○鎖国の完成	1639年	(いろいろサンキュー 鎖国完成)
○ペリーの来航	1853年	(いやござれ ペリーさん)
○安政の大獄	1859年	(幕府批判で 人は獄)
○大政奉還	1867年	(いやむなし 徳川幕府終わる)

その他にも、いろいろ工夫して、楽しい歴史学習にしてみましょう。

3 公民的分野

(1) 家庭生活

3年生の終わりまでの学習の効果をあげるための必要な項目をふくんでいるので、これからの学習に役立つ項目をよく教わり、自分でもよく考えてみる事が大切である。(身近な問題)

(2) 時事問題

常になぜかという疑問をもつこと。さらに調査資料に基づき、すじ道をたてて考えていく。そして正しい判断ができるよう心がける。そのためにもマスコミに関心をもつ。(情報への関心)

(3) 国際政治と平和

地理的分野の「世界の中の日本」、歴史的分野の「両大戦間の世界と日本」で学習したことを活用する。(三分野の関連)

(4) 経済生活

人間の生活には財貨やサービスのたゆまない生産と消費、さらに生産物の流通、政府の経済政策などが大切である。それぞれがどのように関連し、影響し合っているかに注意する。(因果関係)

(5) 民主主義と民主政治

憲法の精神をよく理解し、必要な条文は具体的な事項を通してよくおぼえる。(憲法の精神)

(6) 用語の理解

むずかしい用語が多いので、単語カードなどを利用しておぼえるようにする。(用語の理解)